本社・事業本部・支社所在地および電話番号表

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎大坂 06(586)1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(38)1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎和歌山 0734(31)2481
北東部事業本部	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内 0729(62)1131
北部事業所	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎高槻 0726(71)0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神戸 078(360)3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 0796(23)2221
京滋事業本部	〒800	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎京都 075(311)7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜 0749(62)7171
本社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

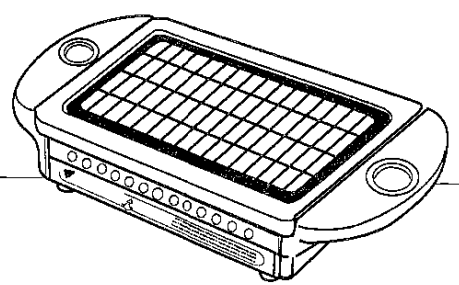
おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）もよりの大阪ガスにご連絡ください。

96 08 5000

ガスバーベキューコンロ

12-030型

型式名 KB-43



取扱説明書

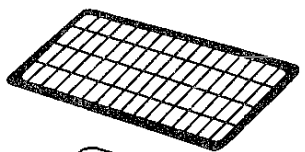
大阪ガス

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

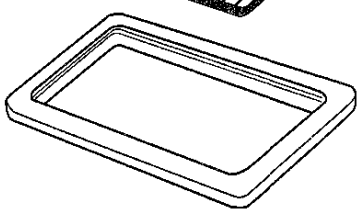
特長・機能のご紹介

●卓上で焼物料理を楽しめます。

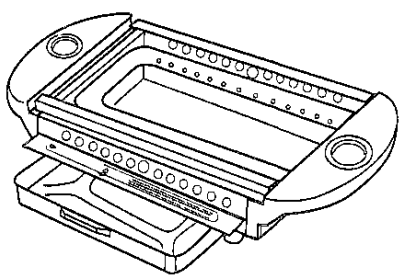
●別売部品を活用して幅広く料理が楽しめます。(☞参照)



ホーロー仕上げで使いやすい。



天板は良質ホーロー仕上げで耐久・耐触性に富み、汚れも落ちやすく清潔です。



水入れ皿

もくじ

●特長・機能のご紹介……1
●安全上のご注意……2
●必ずお守りください……3～6
●各部のなまえ・寸法図・仕様……7～8
●器具の設置と使い方……9～10
●点検・お手入れ……11～12
●故障かな? と思ったら……13
●保管とアフターサービス……14

安全上のご注意

ご使用まえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示しています。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容なので、必ず守ってください。
その表示と意味は次のようになっています。

危害・損害の程度とその表示

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(危険・警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容(左図の場合は火災注意)が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の近くに具体的な禁止内容が描かれています。

❗記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の近くに具体的な指示内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

☆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
☆取扱説明書あるいは機器本体の表示(安全表示、取扱上の注意)を紛失、または汚れなどで読めなくなった場合、お買上げの販売店でお求め(有料)ください。

安全にご使用いただくために

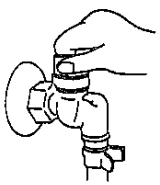
必ず、お守りください

⚠危険

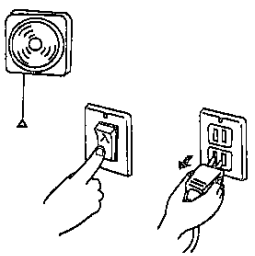
ガス漏れ時の処置

• ガス漏れに気づいたときは、①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、換気扇その他の電気器具のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差し、及び周辺の電話の使用をしないでください。

① すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じる。
② 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③ お買上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。



外から電話する

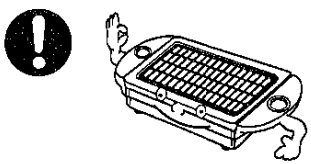


ご注意
火や火花から引火し、爆発事故を起こすことがあります。

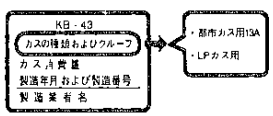
⚠警告

●ガスの種類を確かめる

• 本体左側側面にはってある銘板のガス以外では使用しないでください。不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたりすることがあります。



（銘　板）



• 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具に表示されたガスの種類が一致しているかを必ず確かめてください。

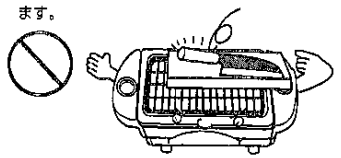
安全にご使用いただくために

必ず、お守りください

⚠警告

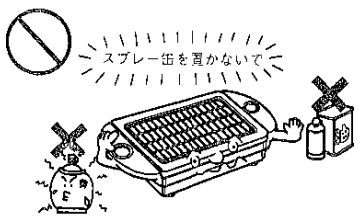
●排気口上の可燃物禁止

• 鍋網を使用中、両側の排気口の上に物をのせないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。



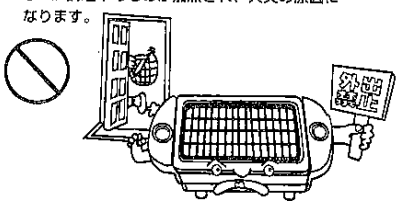
●可燃性ガス使用禁止

• スプレー、カソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを器具の近くで使用しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発の恐れがあります。



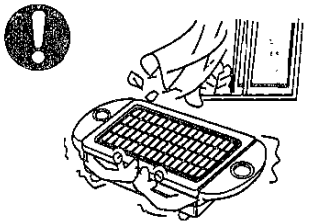
●火をつけたまま離れない

• 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。調理中のものが加熱され、火災の原因になります。



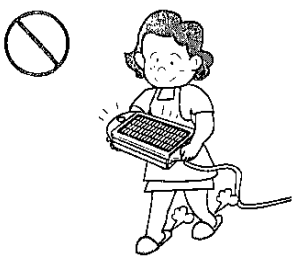
●使用場所について

• 強い風の吹き込むところでは、使用しないでください。風で吹き消されることがあります。
• 棚の下など、落下物の危険のあるところでは、使用しないください。
• 風の流れのあるところでのご使用は、焼きむらがおこりますので、器具の使用場所にご注意ください。



●使用中の持ち運び禁止

• 火のついたまま持ち運ばないでください。転倒すると火災、やけどの原因になります。



安全にご使用いただくために

必ず、お守りください

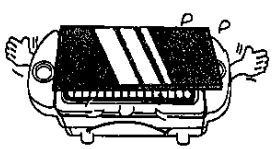
⚠警告

●異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス栓を閉止）して十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については13ページをお読みください。）それでも、もとにもどらないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

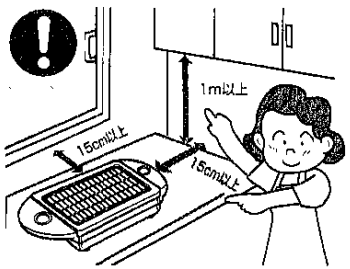
●市販の補助用具について

- 附属品あるいは、この器具専用の別売部品（7ページ）以外は使用しないでください。
- 上面をおおうような使用方法は、**一酸化炭素中毒や火災の原因になります。**



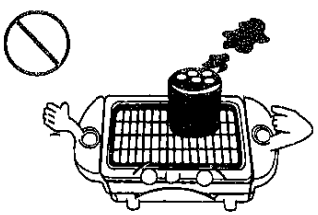
●周囲の防火措置

- バーベキューコンロをお使いになる周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため**左右および後面ともに15cm以上、上方は1m以上**離してお使いください。
高級なテーブル等は表面がニスなど熱に弱い仕上げの場合がありますので、その上でのご使用はお避けください。
また、ビニールなどのテーブルクロスでの使用もしないでください。



●用途について

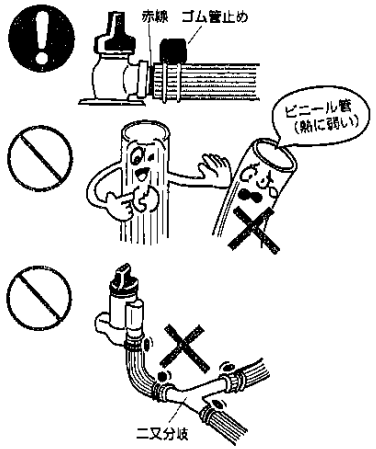
- 調理以外の用途には、使用しないでください。**過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。**



安全にご使用いただくために

必ず、お守りください

⚠注意



●やけどの注意

- ご使用中および使用直後は、器具とその周辺は熱くなりますので、手を触れたり移動させたりしないでください。

特に小さなお子様には、ご注意ください。
やけどの原因になります。

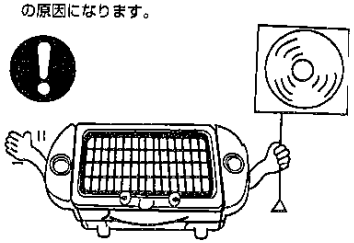
- ご使用中に別売部品（タコ焼プレート等）を取扱うときは、特にご注意ください。ぬれふきんなどで持つと、蒸気が出て**やけどするおそれがありますのでご注意ください。**

●ガス事故防止

- 内径○9.5mmのガス用ゴム管を使用し、お部屋のガス栓、器具のホースエンドとも赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。
ゴム管が抜けたりすると**ガス中毒やガス爆発の原因になります。**
- ゴム管はJISマーク入り、または検査合格品を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短くし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。**ガス漏れ爆発の原因になります。**
- ゴム管の継ぎたし、および二又分岐はしないでください。**ガス漏れ爆発の原因になります。**

●換気について

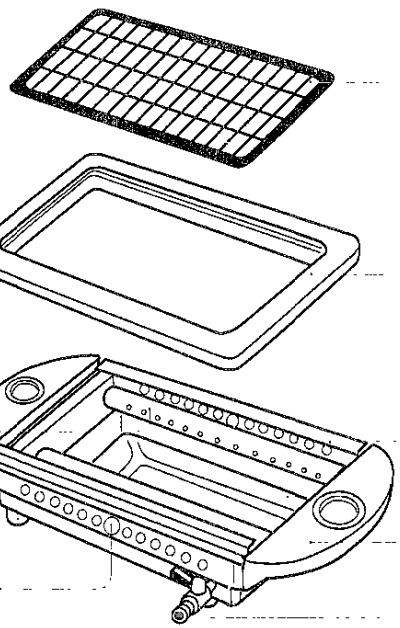
- ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気にご注意ください。不十分な換気は、**一酸化炭素中毒の原因になります。**



●習慣づける

- 使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。**ガス漏れを防止するためです。**

各部のなまえ



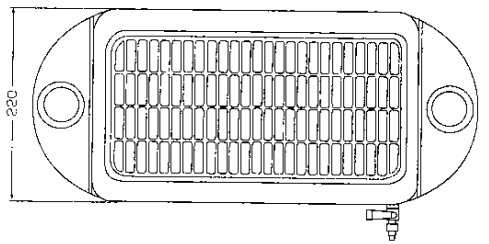
●別売部品

鉄板
品番 41710059031

ロストル
品番 41710000J45

タコ焼プレート
品番 41710000029

寸法図



仕様

品名	ガスバーベキューコンロ	
型式名	K B − 4 3	
品番	1 2 − 0 3 0	
ガス種およびガスグループ	LPガス用	都市ガス用13A
1時間あたりのガス消費量	2.92kW（0.21kg/h）	2.91kW（2500kcal/h）
点火方式	マッチ点火	
外形寸法	高さ120mm×幅520mm×奥行220mm	
重量	3.8 kg	
ガス接続	内径Ø9.5mmガス用ゴム管	

安全にご使用いただくための

器具の設置と使い方

設置前の準備と確認

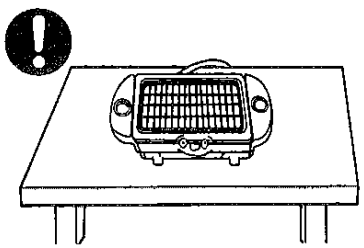
- 各部分のあて紙や包装部分を取り除き、正しくセットしてください。
- 器具銘板のガス表示(ガスグループ)とご使用になるガスが一致しているかご確認ください。

お願い

本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が縮みます。

●設置上のご注意

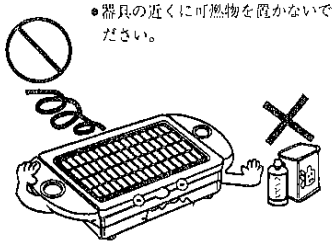
- 丈夫で水平なテーブルなどの上でご使用ください。
- 風の流れがあるところでのご使用は、焼きむらの発生が生じますので器具の設置場所にご注意ください。



●操作前の準備と確認

①器具周囲の確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置かれていないことを確認してください。
- 器具の近くに可燃物を置かないでください。



●はじめてお使いのとき

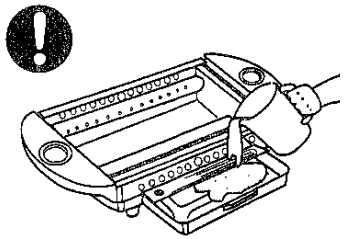
はじめてお使いのときは、必ず水入れ皿に水800cc(カップ4杯分)を入れ、12～15分のから焼きをしてください。油を焼ききるためで、煙と臭いが出ますが異常ではありません。

安全にご使用いただくための

器具の設置と使い方

②水入れ皿に、水を入れる

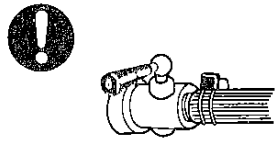
- 点火の前に水入れ皿の水位線まで水を入れてください。
  水の量は800cc(カップ4杯分)程入ります。
- 水を入れられるときは、バーナーに水がかからないように特にご注意ください。もし水がかかりましたら、水気をふきとってください。



- 水を入れ忘れるとホーローがカケたり、器具損傷の原因になります。

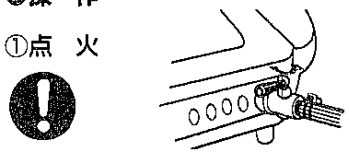
③ガス栓を開く

- 開く前に器具栓つまみが「止」の状態であることを確認してください。

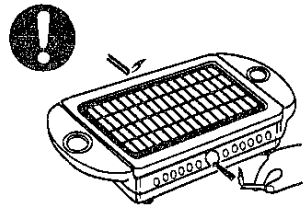


●操　作

①点　火



- 左右両側のバーナーにマッチの火を近づけ、器具栓つまみを「右」の方へ回しますと点火します。
  その後、両側のバーナーの点火を確認してからご使用ください。



- はじめて点火するときは、配管中(ゴム管内)に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回、点火操作を繰り返してください。

②火力調節・消火

- 器具栓つまみを回し、適当な炎に調節してください。
- 器具栓つまみを「左」の方へ止るまで回しますと消火します。

器具用ソケット(81－480型)は使用できません。ガス漏れのおそれがあります。迅速継手を使われる場合は器具用スリムプラグ(81－359型)とガスコードをご使用ください。

安全にご使用いただくための

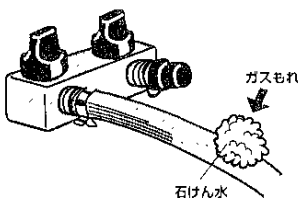
点検・お手入れ

●バーベキューコンロを安全に長くご使用いただくために日常の点検・お手入れを必ず行なってください。

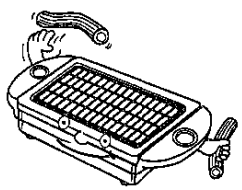
●日常の点検

①ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか?

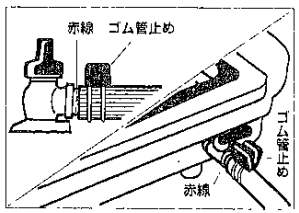
• ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。**ガス漏れの原因になることがあります。**



• ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管Ⅱは、必ず取り替えてください。

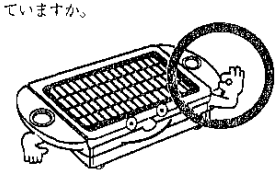


• ゴム管を器具・ガス栓ともにゴム管口・赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてありますか? ゴム管が抜けたりすると**ガス漏れの原因になります。**



②附属品が正しくセットされていますか?

• ロストル、水入れ皿などが正しくセットされていますか。



③詰まり、たまり、汚れはありませんか?

• バーナーの炎口が脂で目つまりを、おこしていませんか。**一酸化炭素中毒の原因になります。**

• 水入れ皿に多量の脂がたまっていませんか。(脂がたまったまま使用しますと、脂が燃えることがあります。)

ご注意 • 日常の点検、お手入れの際にはガス元栓を閉じ、器具が十分冷えてから行なってください。

• 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。

万一、具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

安全にご使用いただくための

点検・お手入れ

●お手入れ

そのつど	ときどき

●天　板・水入れ皿

• そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。汚れがひどいときは洗剤をふくませたナイロンタワシで洗ってください。

〈ご注意〉

• お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようにご注意ください。

• バーナーの水洗いは、しないでください。(中がさびる原因になります)

●器　体

• 脂などの汚れは、湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としてください。

●焼　網

• 焼網はホーロー仕上げですので、中性洗剤で水洗いしてください。汚れていますと、その汚れが燃えて煙になりますので、必ず掃除をしてください。汚れの落ちにくいときは、中性洗剤のぬるま湯にしばらくつけてください。

●別売部品

• タコ焼プレート、ロストルは中性洗剤で水洗いしてください。汚れの落ちにくいときは、ぬるま湯につけて金属タワシなどで洗ってください。それでも落ちないときはカラ焼きしてから中性洗剤液で水洗いしてください。

●バーナー

• バーナーは水洗いをしないで硬いブラシで汚れを落としてから細い針金またはキリなどで、炎口の掃除をしてください。バーナーを目詰まりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。

• バーナー本体の水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。

いずれの場合もお手入れ後は、乾いた布で十分に水気をふきとってください。

●長期間使用しない場合

• 各部の汚れを取り除いて十分に乾燥した後、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンドなど)にほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

故障かな?と思ったら

●次のことをお調べください

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス栓閉止）して十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	点火しない点火しにくい	着火(火移り)しにくい	炎が安定しない	黄炎で燃える	消火しない	異常な音をたてて燃える	ガスのにおいがする	使用中に消火した	器具栓つまみの操作が重い	処置方法	参照ページ
ガス栓の開け忘れ	○									ガス栓を開ける	10
ゴム管が折れている	○							○		ゴム管の折れをなおす	6
ゴム管内に空気が残っている	○	○	○					○		点火操作を繰り返す	10
器具栓つまみの開き不十分	○	○								器具栓つまみを全開にする	10
ノズルの詰まり	○	○		○				○		点検・修理を依頼する	14
空気吸引部にほこりが詰まっている				○						点検・修理を依頼する	14
バーナーの腐食・炎口の詰まり		○	○	○		○				バーナー・炎口を掃除する	12 14
器具栓つまみの故障	○	○			○				○	点検・修理を依頼する	14
片側のバーナーに点火していない							○			点火操作をくり返す	10
ゴム管のひび割れ・穴あき							○			ゴム管を交換する	6 11
ゴム管の接続不足							○			ゴム管の接続を確実にする	6
ガス栓の損傷	○						○			点検・修理を依頼する	14
炎口に水がかかっている	○	○	○							水分をふきとる	12
ガスがノズル部分で燃えている				○		○				一度ガスを止め、再点火する	10

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときやおわかりにならないときは、
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

保管とアフターサービス

●保管（長期間使用しない場合）

●ガス栓を閉じてください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」（13ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

●ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
1. 品　名……ガスバーベキューコンロ
2. 品　番……左側面に貼付してあります。
3. 故障、異常の現象……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号
5. 道順

例 (N) 12-030(U)
大阪ガス株式会社 04

転居されるとき

●ガスの種類には都市ガス、およびLPガスがあります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は…
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について…
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後6年間です。